自衛消防訓練通知書の電子申請方法(パソコン編)

●電子申請画面へのログイン

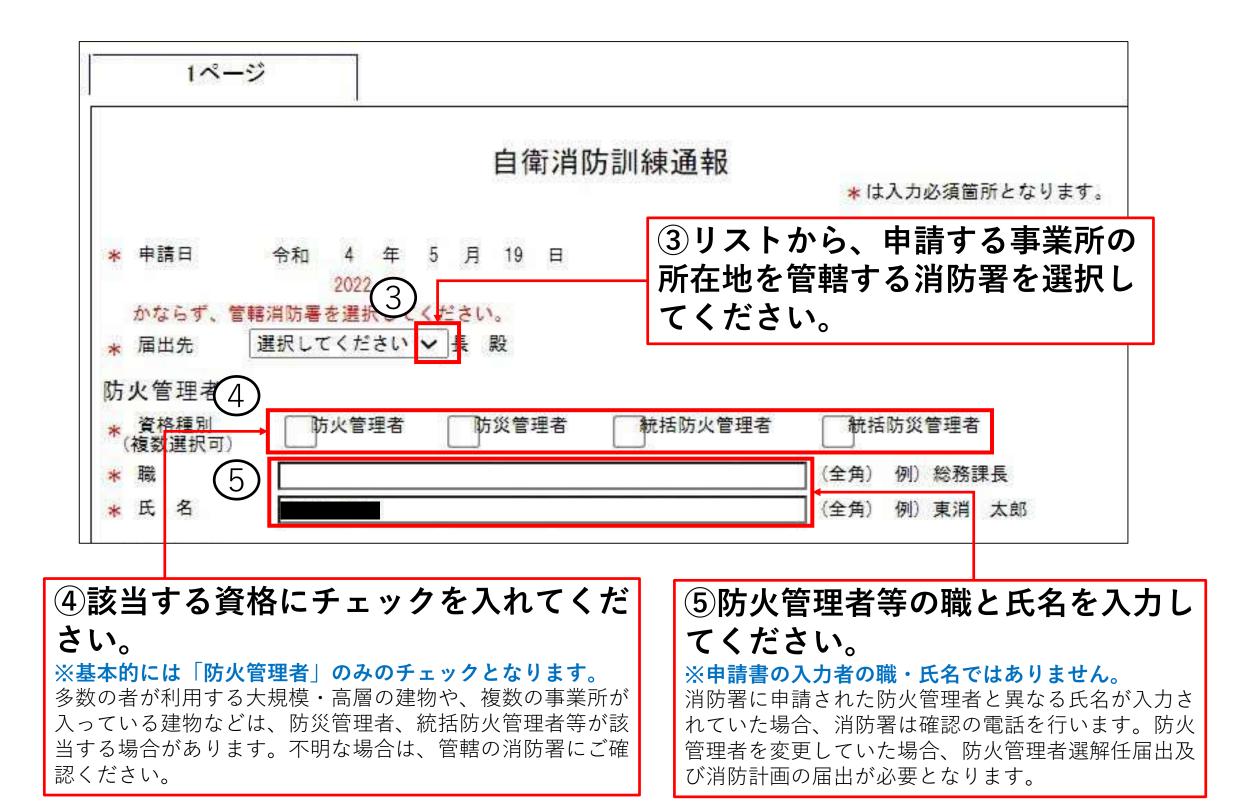


②電子申請のユーザー I D とパスワードを入力しログインボタンをクリックしてください。

ログイン
ユーザIDを既にお持ちの方は、ユーザIDとパスワードを入力して、
(2)イン1 ボタンを押してください。
ユーザID
パスワード

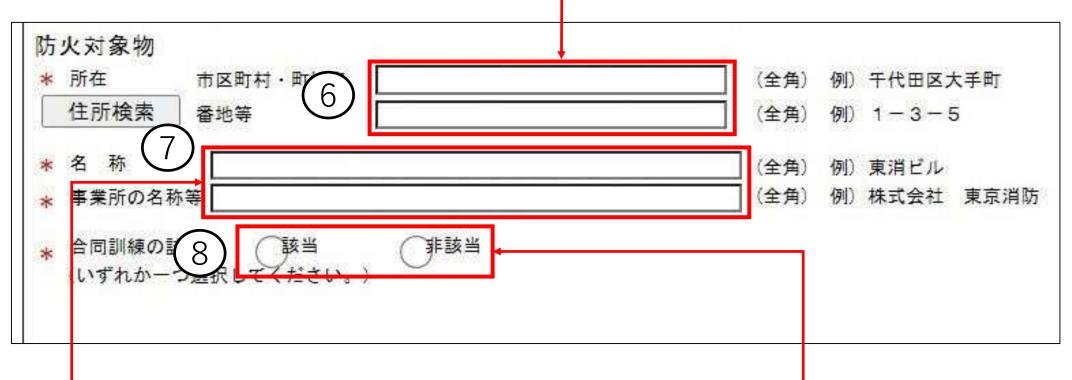
コーザID
パスワードをお忘れの方はこちらをご利用ください。

●自衛消防訓練通知書の作成 その1



⑥建物の所在地を記入してください。

※左の「住所検索」のボタンを押すと郵便番号から住所が検索できます。



⑦上段に建物の名称、下段に事業 所の名称を記入してください。

⑧合同訓練の有無をチェックしてください。

※合同訓練とは、建物内に複数の事業所があり、複数の事業所が 連携して自衛消防訓練を行う場合をいいます。

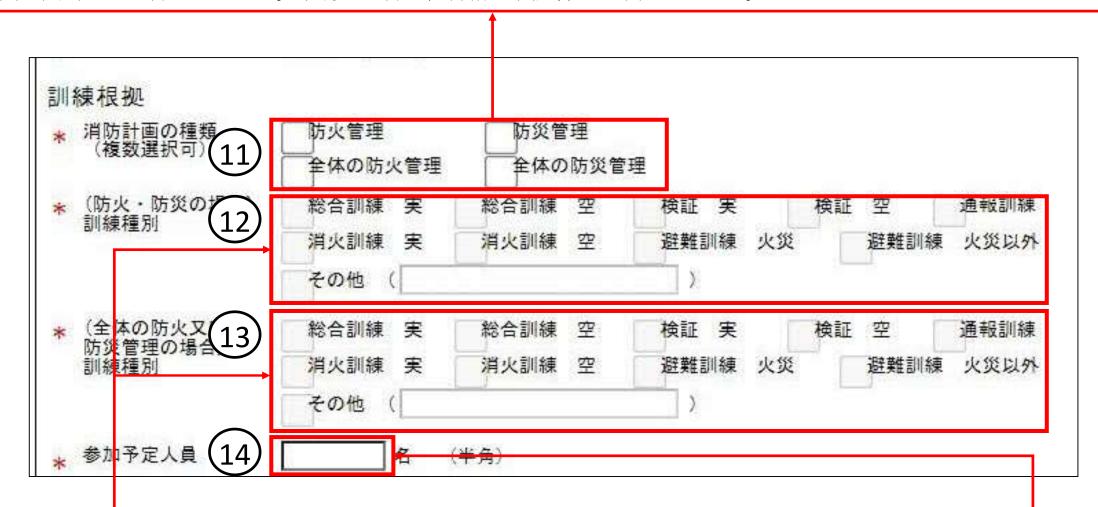
●自衛消防訓練通知書の作成 その2

* 年月日(始)	9	年月		(半角)	
* 時分(始)	[時 分	(半角)	※24時間単位で記載してください	ヽ(午後3時⇒15時)
* 年月日(終)	10	年 月 年		(半角)	
* 時分(終)	[時 分	(半角)	※24時間単位で記載してください	ヽ(午後3時⇒15時)

①訓練の根拠となる消防計画にチェックを入れてください。

※基本的には「防火管理」のみのチェックとなります。

多数の者が利用する大規模・高層の建物や、複数の事業所が入っている建物などは、防災管理、全体の防火管理等の消防計画が該当する場合があります。不明な場合は、管轄の消防署にご確認ください。



②③該当する訓練の種類にチェックを入れてください。

「総合訓練 実」:通報・消火・避難の3つの要素を取り入れ実際に放水する訓練

「総合訓練空」:通報・消火・避難の3つの要素を取り入れ放水せず空のホースで行う訓練

「検証 実」:自衛消防隊の放水開始時間や任務行動の適否を検証し実際に放水する訓練

「検証 空」:自衛消防隊の放水開始時間や任務行動の適否を検証し放水は行わない訓練

「通報訓練」:通報を個別に行う訓練

「消火訓練 実」:実際に放水する消火訓練

「消火訓練 空」:放水せず空のホースで行う消火訓練

▶ 個別に訓練を行う場合のみ選択

「避難訓練 火災」:火災想定の避難訓練

「避難訓練 火災以外」:火災以外の想定の避難訓練

※不審者対応訓練など、消防業務と異なる訓練は自衛消防訓練に該当しません。

※「ネットで自衛消防訓練」を活用した訓練の場合、見た動画の内容を選択してください。

⑭訓練に参加予 定の人員数を入 力してください。

●自衛消防訓練通知書の作成 その3

17訓練概要の具体的な内容を入力してください。

※消防職員の訓練指導を希望される場合は、申請前に消防署へご連絡いただき、訓練日の調整を必ず行ってください。 また、その旨をご記載ください。

保存

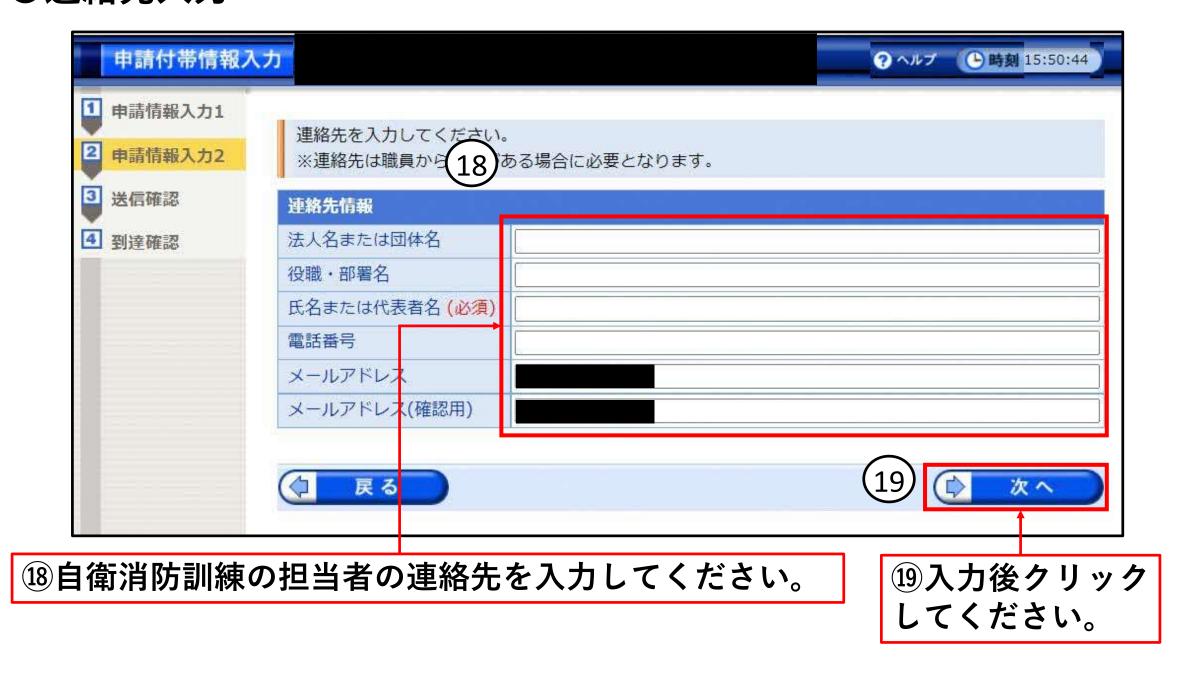
次へ

読込

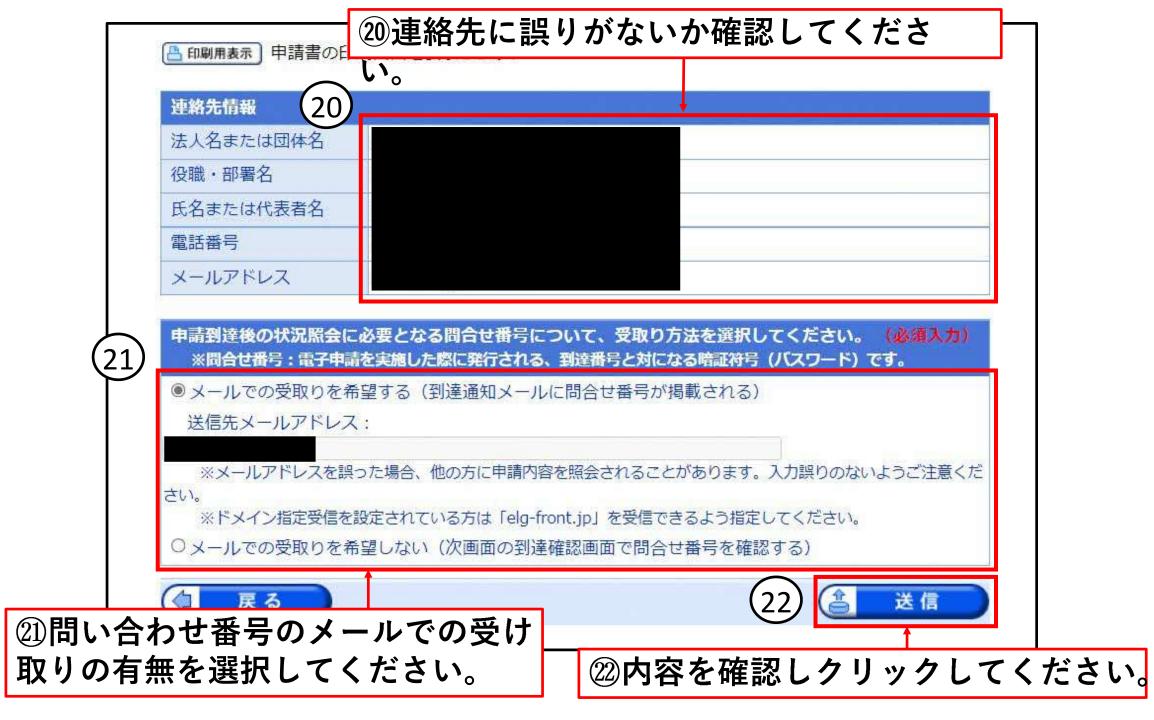
(例)「〇月〇日10時00分頃、2階レストランから出火し、3階に逃げ遅れが数名いる。」という想定に基づき、 119番通報、館内非常放送、初期消火及び避難誘導の訓練をビル全体で実施する。その後、参加者に対し水消火器を 活用した個別訓練を実施するため、消防署の訓練指導を希望する。

●連絡先入力

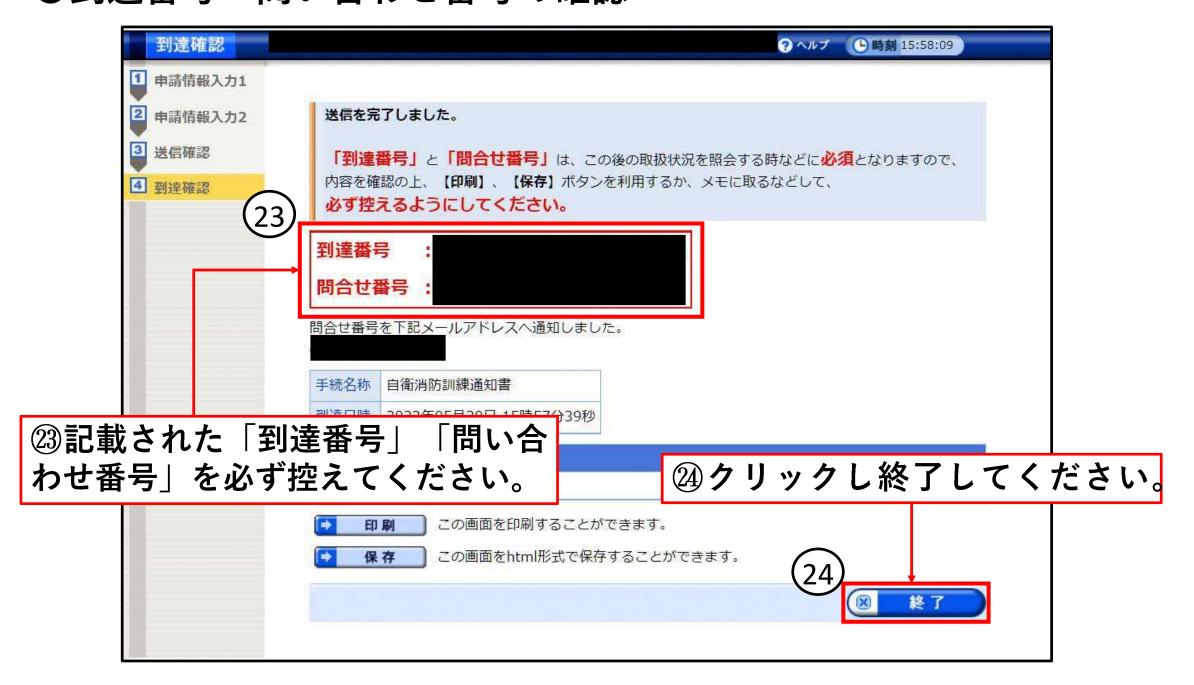
戻る



●連絡先の確認、問い合わせ番号の受け取り方法選択



●到達番号・問い合わせ番号の確認



●受付完了通知

土日を除き概ね1日~2日で受付が完了し、受付番号が記載された完了通知がメールで送付されます。